

182070-2 薬用リキッドソープピンク
 株式会社ユーホーニイタカ

作成日： 2017年12月11日
 改訂日： -

安全データシート

【1. 化学物質等及び会社情報】

| | |
|----------|------------------|
| 製品名 | 薬用リキッドソープピンク |
| 会社名 | 株式会社ユーホーニイタカ |
| 住所 | 茨城県常総市大生郷町6136-7 |
| 電話番号 | 0297-24-2535 |
| FAX番号 | 0297-24-2537 |
| 担当部門 | 本社工場 |
| 緊急連絡電話番号 | 0297-24-2535 |

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

| | |
|-------------------|----------------|
| 物理化学的危険性 | 金属腐食性物質 分類できない |
| 健康に対する有害性 | |
| 急性毒性（経口） | 区分外 |
| 急性毒性（経皮） | 区分外 |
| 急性毒性（吸入：気体） | 分類対象外 |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | 区分外 |
| 急性毒性（吸入：粉塵およびミスト） | 区分外 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 | 区分1 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分1B |
| 発がん性 | 区分2 |
| 生殖毒性 | 区分1A |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露） | 区分2(肝臓) |
| 特定標的臓器毒性（反復暴露） | 区分2(気道) |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | |
| 水生環境有害性（急性） | 分類できない |
| 水生環境有害性（慢性） | 分類できない |

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

皮膚刺激
 重篤な眼の損傷
 遺伝性疾患のおそれ
 臓器の障害のおそれ（肝臓）

長期または反復暴露による臓器の障害(気道)

注意書き

- [予防策] : 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 環境への放出を避けること
- [対応] : 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
 皮膚刺激または発疹が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて
 容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- [保管] : 密閉して保管すること。

【3. 組成、成分情報】

| | |
|-------------|--|
| 単一製品、混合物の区別 | 混合物 |
| 成分 | イソプロピルメチルフェノール 天然ヤシ油脂肪酸カリ石鹼 界面活性剤 エデト酸塩 エタノール 色素 水 |

【4. 応急措置】

| | |
|-------------|--|
| 吸入した場合 | 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 直ちに医師に連絡すること。 |
| 皮膚に異常が現れた場合 | 使用を中止し、皮膚科専門医等へ相談する。 |
| 目に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 直ちに口をすすがせて多量の水を飲ませる。 無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。 |

【5. 火災時の措置】

| | |
|-------------|--|
| 消火剤 | この製品自体は、燃焼しない。 |
| 使ってはならない消火剤 | 知見なし |
| 特有の消火方法 | 消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立入りを禁止する。

多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を
起こさないように注意する。

大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に
処理されずに環境へ流出しないように注意する。

漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で
吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。
多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから
処理する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの
取扱いをしてはならない。

局所排気・全体換気

換気を良くして使用することが望ましい。

注意事項

なし

安全取扱い注意事項

吸入又は飲み込んではいけない。

取扱い後はよく洗うこと

保管

適切な保管条件

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

他のものと混同しないように保管する。

容器は直射日光や火気を避けること。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替える場合は、当社指定の専用容器を使用する。

（商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器）

【8. 暴露防止及び保護措置】

保護具： 通常取り扱いにおいて不要。

呼吸器の保護具

-

手の保護具

-

目の保護具

-

皮膚及び身体の保護具

-

【9. 物理的及び化学的性質】

外観

赤色透明の液体

臭い

芳香

pH

10.0~10.5

融点・凝固点

知見なし

沸点、初留点と沸騰範囲

知見なし

引火点

知見なし

自然発火温度

知見なし

燃焼又は爆発範囲の上限／下限

知見なし

| | |
|--------------|------------|
| 蒸気圧 | 知見なし |
| 蒸気密度 | 知見なし |
| 比重（相対密度） | 1.01（25℃） |
| 溶解性 | 水と任意の割合で混合 |
| オクタノール／水分配係数 | 知見なし |
| 分解温度 | 知見なし |

【10. 安定性及び反応性】

| | |
|------------|-------------------------------|
| 安定性 | 法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安全と考えられる。 |
| 危険有害反応可能性 | 酸と反応し、発熱する。 |
| 避けるべき条件 | 混触危険物質との接触 |
| 混触危険物質 | 酸性物質 |
| 危険有害な分解生成物 | 知見なし |

【11. 有害性情報】

| | |
|-----------------|-------------|
| 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 | 製品としてのデータ無し |
| 生殖毒性 | 製品としてのデータ無し |

【12. 環境影響情報】

| | |
|-----------|------------|
| 水性環境急性有害性 | 製品としてデータ無し |
| 分解性 | 製品としてデータ無し |

【13. 廃棄上の注意】

【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。
 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。

【14. 輸送上の注意】

| | |
|----------------|--|
| 国内規制 | 適用法令の定めるところに従う。 |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | 直射日光を避け、高温のところに置かない。 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 |

【15. 適用法令】

| | |
|--|-----------------------------|
| 労働安全衛生法第57条の2第1項の政令で定めるもの | 政令番号61：エタノールを0.1%を超えて含有する製剤 |
| 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの | 該当しない |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（特別管理産業廃棄物） | 該当しない |
| 有害物質を含有する家庭用品の規則に関する法律 | 該当しない |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 化審法 | 該当しない |

消防法

該当しない

【16. その他】

記載内容の問い合わせ先

| | |
|-------|------------------|
| 会社名 | 株式会社ユーホーニイタカ |
| 住所 | 茨城県常総市大生郷町6136-7 |
| 担当部門 | 本社工場 |
| 電話番号 | 0297-24-2535 |
| FAX番号 | 0297-24-2537 |

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
また、記載事項は通常の実験を対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。